

姉 | 体 | 験 | 女 | 学 | 寮

L i m i t e d E d i t i o n

— みちきんぐ —

Presented By michiking

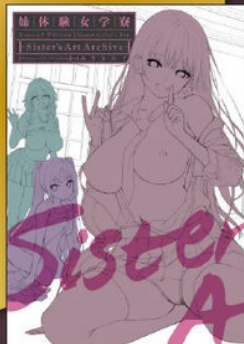


デジタル特装版限定!!

単行本未収録
— イラスト集 —

Sister's —
Art Archive

24 スペシャル
ページ 収録!!!!!!



R18
ADULT
ONLY

姉 | 体 | 験 | 女 | 学 | 寮

L i m i t e d E d i t i o n

— みちきんぐ —

Presented By michiking



俺がまだ
幼少の頃ー

どうしたの？
鉄平？

また眠れなく
なっちゃた？

ううん…

朱寧
お姉ちゃん…
また一緒に
寝ていい…？

も、
仕方
ないね

ほら
これで安心
でしょ

寂しがりや
だった俺は
いつも姉に
甘えていて

そんな俺を
姉はよく面倒を
見てくれていた

そんな姉に
俺は密かな好意を
募らせていた…

おやすみ

うん…

姉 | 体 | 験 | 歳 | 月

— Ane Taiken Saigetsu —

だからいつか
こんな風に

優しく
エッチの面倒も
見てもらえたら…

お姉ちゃんに
たくさん甘えて
いいんだよ♡

気持ち良
なったら

我慢しないで
いっぱいピュッピュ
しちゃおうね♡

なんて
淡い妄想を
したりしていたー

が：
六年後の
現在—

ほら
テツッ

んぐっ
んぶう

もっと
ちゃんと
舐めて
気持ち良く
させなさいよ
バカッ

あん♥

あゝ
そこのこゝ♥
もっと
強く強く♥

朱姉ちゃん
ももう勘弁…っ

はあ？
ピンピンにして
何言ってるの

これからが
本番なん
ですけど？

ななら
せめて

ゆっく…
り…っ！
いっ！





だめだめ
私激しいの
好きだから
ちゃんと
堪えなさいっ

無理無理
無理ッ!!
もう
イッてる...っ
出てるって...!!

はー?
ホント早漏ね
アンタ



あんたが
気持ち良くなって
どーすんのかなよ
お姉ちゃんの
言う事聞けない
弟なんて
こうだっ

ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!



萎ませたら
承知しない
からねっ

あなたは
私を満足させる
ために
チンポを
勃たせてれば
いいのよ

あゝ
キタキタ...♡
射精
しながら
だんだん
硬くなって
きこる♡

ん...
これ
イケネ...♡

あゝ...
いくっ...
んんっ♡

※この作品はイタコンであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。



いらない



でも
佳苗の好きな
プリンだし...
一緒に...

嫌っ
望未お姉
一人で食べて

あう...



昔は凄く
仲良かったのに...
最近
こんな感じ...

やっぱり
思春期
なのかなあ...

もう少し
仲良く...



出来る
事なら
...



佳苗が冷たい妹
じゃなくて
もっと甘えん坊で
私の事が大好きな...

もうっ
慌てない
のっ♡

プリンっ
プリンっ
食べたいっ

弟だったら
なあ...っ

望 | 願 | 験 | 体 | 姉
— Ane Taiken Ganbo —



そしたらきつと
こんな風に
甘えてきて…
男の子だから
ちよつとエッチ
だったりして…

あつ
ごらあ♥

いつもお姉ちゃんのおっぱいを触りたがってたり…

もお、
かなくんは
そっちのプリンが
食べたいの？♥

だって
好き…っ
好きな
だもんっ

プリンッ
プリン…ッ!



そのまま
赤ちゃん
みたいに
吸われ
ちゃったり
して…

きっと夢中で
もう必死に…



ああ…ダメ…
そんなの…

かわい
いっっ

お姉ちゃんのおっぱい…
プリン…っ
好き…っ

カワイイ
…♥

カワイ
すぎるよう♥

WICKO



そんな顔なんて
されたら...
され...
たらあ...♥

かな...
く...ん♥

ぽく...っ

お姉ちゃん...
ぽく...っ

それで...
そんな

そしたら
きつと...
可愛い
おちんちん
パンパンに
させちゃって



もう...
かなくん
ダメだよ...
そんなに可愛く
おねだりなんて
しちゃったら...



お姉ちゃん
のが...
我慢できなく
なっちゃう
でしょおっ!♥

あーもう
お姉ちゃん
止まんないっ♥
かなくんが
可愛すぎるのが
いけないんだからね!♥

ちゅーも
ちゅーもっ♥
ああん♥
愛も舌も
全部可愛さっ♥

グッ
グッ
グッ

グッ
グッ
グッ



ああ…
でちゃう…っ

出したいっ
出したいいい…?
お姉ちゃん…っ

今そんな
可愛いおねだり
ダメっ♡
そんなの…っ♡
お姉ちゃんイっ…
あ…あっ！♡

ここ
こっぴど♡

ほりあ
イッちやった…♡
お姉ひゃんも
一緒にいっ♡

もっ♡
もっとして…
お姉ちゃん…♡

ええ…？♡
イッちやった
のにい…？♡



そういう
ところが
嫌なのよー!!

ああんっ
かなく〜ん♡



だ
だから…

あ…もっ♡
もっ♡甘えて
かなく〜ん…♡
お姉ちゃんの
プリンもたくさん…
あ…ああんっ♡

もお…
甘えんぼさん
なん…だからあ…♡



まひる
真昼ちゃんとは
かなり夜更けまで
してたよね

普段は凛としてて
女子っぽい感じ
あまり見せないのに

のぞみ
望未ちゃん
弟をずっと
欲しがってたからね

たつきさん
甘えさせてくれた
でしょ？♥

エッチの時は
あんなに可愛い声
出しちゃうなんてね♥
感度抜群って感じ？♥

きつと本人も
今頃もしたくて
ウズウズしてるんじゃないかなあ♥

あのおつきなおっぱいで
いっぱい射精して
たくさん褒めて貰えて
幸せって感じかなあ♥

なんで
……

鉄平さん
ずっと朱寧さんに
虐げられてたでしょ？

優しいお姉ちゃんに
甘えたいな〜みたいな目っ
ずっとしてたもんね♥

だからアタシが
叶えてあげたのっ
良かったね鉄平さん♥

念願の
「優しいお姉ちゃん」に
甘えられて――

なんでこの子が…
こんな所に…っ？

日奈森ひなもり...

冬乃ふゆの...さん

っ

全部は
これ

【姉体験週間】の
お・か・げ♥

寮 | 学 | 女 | 験 | 体 | 姉

— 生意気女学生とおねショタえっち!? —

第3話

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

一昨日届いた
ラ○ンアプリ
覚えてるでしょ？

...っ!!

姉...
たいけん...?

そうそう♥



これを起動した
画面を見ると
同じ画面を見た
男性の事が

幼・児・化・し・て・見・え・る
催・眠・ア・プ・リ・な・ん・だ・よ

一昨日これを
聖女寮の寮生全体に
ラ○ンで送ったから
今はみくんな
貴方の事が
幼児に見えるように
なってるのっ

な……
——ッ

さ……催眠……
アプリ……??
君が……?
そんな……
バカな……

信じられない??

まさりや
そうだよね

だって
鉄平さん

アタシの事
好きだった
もんね♡

好きだから
アタシがイイ子って
信じたんだよ

でも
ざあんねくん♡
全部アタシの
仕業なのっ♡

——っ!?

ね…
どうだった？
イイ子のワタシ…？

いつも
目で追ってた
よね…

その時
どんな事
想像してた…？

甘えて
いやらしいお願い
したかった？

これが…

無理矢理
しゃぶらせて
みたかった？♡

踏まれて
弄られるのとか
想像しちゃったり
したのかなあ？♡

あの日奈森さん…！？

ねえ…
したい…？♡

こんなの…

あ…

ああ…

天使
どごろか…
まるで—

あ…

小悪魔
じゃないか…っ

アタシの
ココに…

ハメハメ…♡

何が
起こって…
理解が全然
追いつかない…

ほら見て

♡ 触って

訳が分からなくて
頭がどうにか
なりそうだ…っ

待…っ

ほら…
ほらあ…♡

なんでそんな
アプリ使って
まで…っ

こんな
事…っ!!

…
そう



だ・か・ら・
ま・だ・し・な・い



フッ
し・た・い・だ・け・な・ら
幼・児・化・さ・せ・る
意・味・な・ん・て・無・い・？

そ・う・そ・う
そ・の・通・り・だ・よ
鉄・平・さ・ん・つ

良・く
分・か・つ・て・る



貴・方・が
み・ん・な・と
す・る・ま・で・は



……
遅・れ・な・い・で
ち・や・ん・と
つ・い・て・き・て……

あ・ち・よ・待……
荷・物・が・多・く……

こ・っ・ち……

びしょ

びしょ



昨晚から半日を経て
僕の世話役は
また次の立候補者に
替わっていた——

は……はい……

お姉さん
世話役は
私……
お姉さん
世話役の言う事は
聞かないと
ダメ……



彼女は中等部2年
梶香那子
あだ名は「てし子」
と言っている

世話役希望者の
中でも最年少で
感情表現の乏しい
無口な生徒だ

誰に対しても
いつもこの調子で
鉄平の時も
ほぼ無視されて
いたと思う



交遊も狭く
部屋にこもりがちで
催し物にも
参加しない彼女が
なぜ世話役を
希望したのか……
僕には皆目見当も
つかなかった——



コキ……



てし子が世話役に
向いてなさそうとか
思ってるんですよ

あは♥
小鉄くん

ギョッ

大丈夫っ

ワタシの人選は
完璧だから♥



昨夜の
あの後——
日奈森さんは
無線イヤホンを
渡してきた

…っ

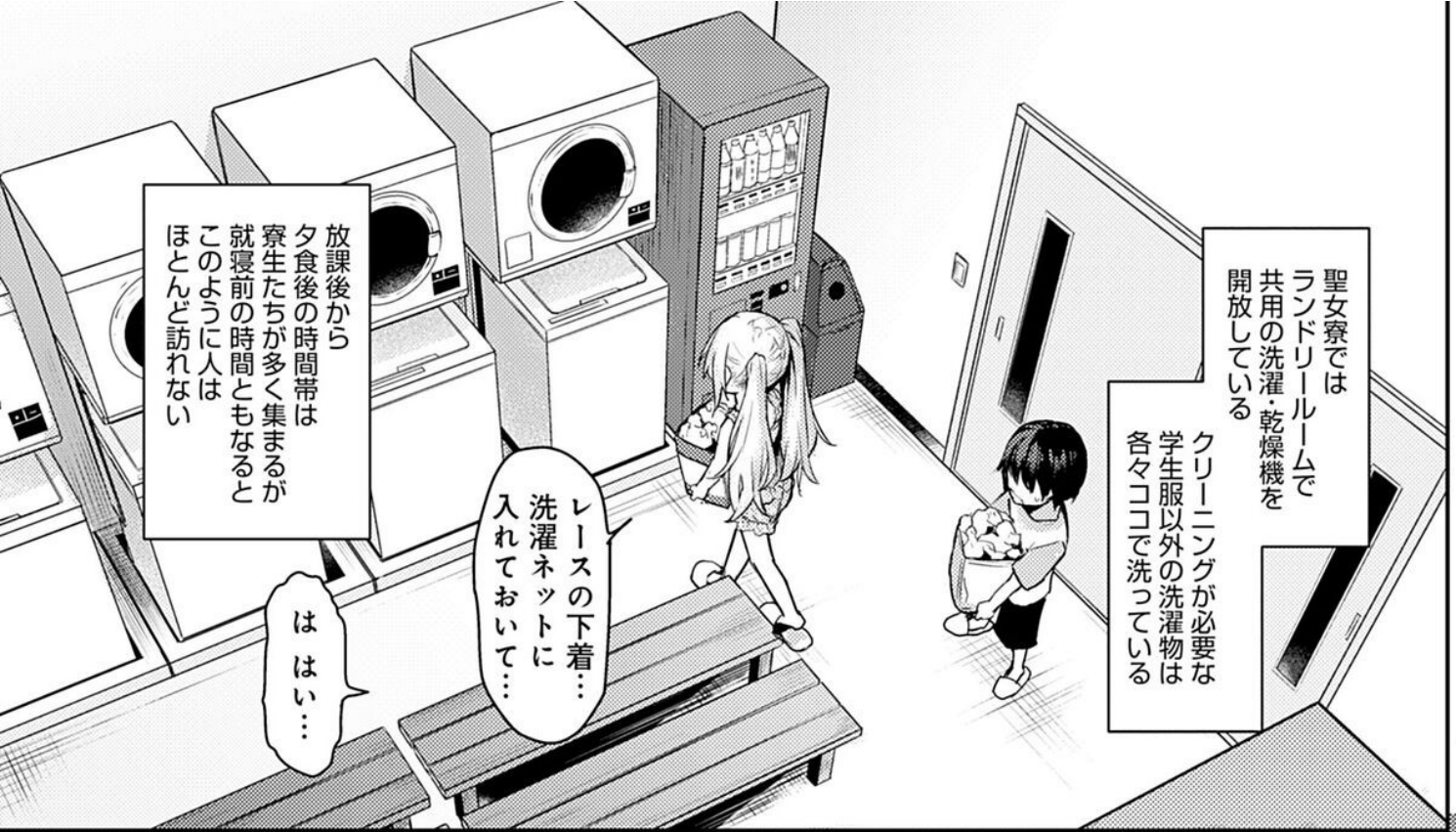


収録マイクの
機能も備わっていて
会話もできるらしい
これを常時
つけるように言っと
日奈森さんは
自室へ帰っていった

結局昨日は
それ以上聞く事が
出来なかった…
幼児化させられた
意味も意図も
分からずじまいだ…

一体
どういつつもり
なのか…

…っ



聖女寮では
ランドリールームで
共用の洗濯・乾燥機を
開放している

クリーニングが必要な
学生服以外の洗濯物は
各々ココで洗っている

放課後から
夕食後の時間帯は
寮生たちが多く集まるが
就寝前の時間ともなる
このように人は
ほとんど訪れない

レースの下着…
洗濯ネットに
入れておいて…

はい…



なんにせよ
〔鉄平〕に戻れず
〔小鉄〕でいる以上
僕は大人しく子供に
徹するしかなかった…

し…しかし…
女子生徒の
下着を弄るなんて…

しかも
やけにたくさん
あつて…
柔らかくて
甘い湿った香りが
なんだか凄く…っ

って落ち着け…
今は小鉄なんだ…っ
子供に徹しないと…

い…入れました

…そう

…じゃあ

…脱いで

は？



な
っ
!?

コキッ

…洗うから



あいや…
僕は大丈夫
だから…っ
今は…

…っ!



あ…これは
その…っ
し下着を
見てたら
勝手にですね…

あの…
えっと…っ



ダメ…
脱いで…

え…っ
あちよ…っ!?



脱いで…
見せて…

な…なんだ!?
急に積極的に…っ

あ…
あ…!!



ほら分かってきた?♥

てし子はね

ここ... ころ...



優しく...

こんなふうには... スリスリすると... 気持ちいい...

オナニーが大好きなの♥

てし子ってね部屋に籠ってる時いつもオナニーしてるんだよ♥

寮生活って男子もいなくて刺激少ないじゃない?

だから一度オナニーに目覚めちゃったら止められなくなっちゃったみたい♥

男子に興味津々だからこの機会に頑張って立候補したんだよ?♥

せっかくだもん姉弟でオナニーの教え合いっこしようよ♥

そそんな事...

どうしたの?

自分でするの... 怖い?

てし子の洗濯物が下着ばかりなのもオナニーのせい♥





最初はお姉さんも…
そうだったから
分かる…

ちょ——っ!?

すずすずで
めるめる…

だからまずは
お姉さんの
練習…



小鉄のは…
お姉さんが
触ってみる…

触って
みたい…

指が
気持ちい…



たどたどしい
手つきで僕のを
扱ってきて…

男の子のは
お姉さんも
初めて…
気持ち…
いい…?

う…はい…

そもそも
中等部の子なんか
近づくだけで
犯罪的なのに…

そんな子が
間近で…

そう…



ドク
ドク

これを見れるのが
僕だけかと思うと

は...あつ
あ...つ

も...つ...
そ...つ...
...つ...
...つ...



良かった...

こんな
表情するなんて

お姉ちゃんも...

自分でするより...
気持ちいいかも...



小鉄くん? ♡
もう射精しちゃい
そうなんでしょー ♡

いーよいーよ ♡
出しちゃえ ♡
出しちゃえ ♡



精液知らない
お姉ちゃんに
射精するとこ
見て貰っちゃえ ♡

精通する時みたいいな
大量射精するとこ
見て貰っちゃえ ♡



てし子
お姉ちゃんって
発育控えめで
カワイイでしょお？

実はね——
三年前のアタシと
サイズも体型も
ピッタリ同じなの♡



お姉
ちゃん…っ！

甘ったるい声が
理性を犯すように
染み渡ってきて…

きゃーっ!!

ねえ…
したい…？♡
目の前の
お姉ちゃんに

はみ…

はみ…

きゅ



知らない...さ...

こんなの...
気持ち...いいの...

待あし...じ

は...ん...
ん...じ...

ま...

や...
ひあ...じ

何...こえ
知らない...い

どお?
小鉄くうん
気持ちいい?

てし子
お姉ちゃんの
おまんこで
ちんちん
よしよされて
甘えるの
気持ちいい?!

僕は
ここに至って
日奈森さんに対する
認識が甘かったのだと
よじやく気づいた

彼女は
天使どころか

それとも
アタシのおまんこ
想像してるの
かなあ?♥

アタシの
ロリまんこ
だと思って
ハメハメしてる
のかなあ?♥

小悪魔
ですわなく...

いいよお...
もっと
想像して...♥

昨日のアタシの
おまんこの感触
思い出して...♥

淫魔そのもの
だった

小ちゃくて
柔らかくて
くちゆくちゆな

アタシの
ロリお姉ちゃん
おまんこだと思って♥

お姉ちゃんのおまんこは
弟精液いつでも
受け取め準備オツケー
なんだよ...♥

だから
出しちゃおっ♥
出しちゃ
おつよ...♥
お姉ちゃん
大好物の

甘えん坊
精液いっ♥

あ〜〜ダメダメ♥
止まっちゃダメ♥

精液出しきるまで
止まっちゃダメ♥
世話役の言う事は
聞かないとダメ…♥

膣内出しッ!♥

膣内出しっ♥

膣内出しっ♥

たっぷり
刷り込んでえ♥

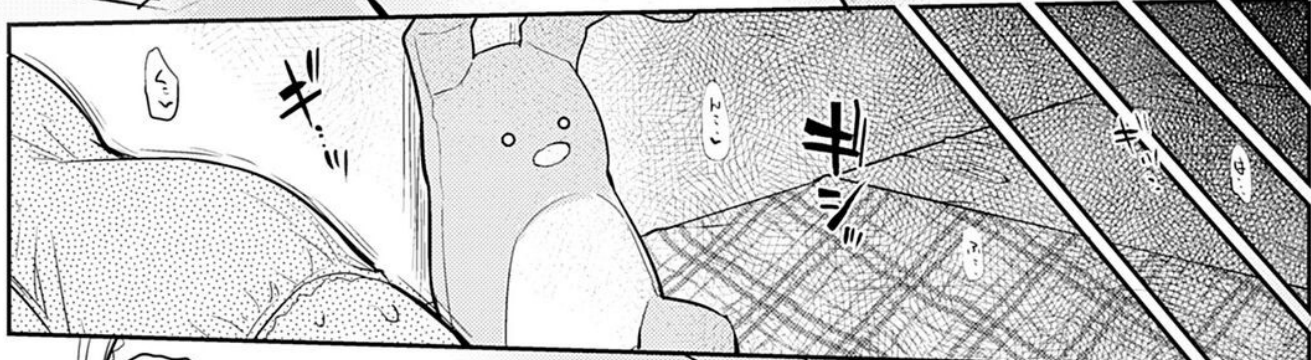
もっともっと
お姉ちゃんの
膣内につ♥





あはっ♡
てし子も
「お姉ちゃんに
目覚めちゃった
みたい♡

これは今夜も
たっぷり甘えて
お世話して
貰えそうだね♡



んん…っ!
…ふう…♡

は…あは♡

二人とも
まだしてる…♡

いいなあ…♡
気持ち良さそ
…♡

ワタシも
したいなあ
…♡

…でも



でもー
…ダメ
まだ…ダメ…♥

お兄ちゃんに
たっぷり仕込まれた
アタシには
ただのチンポ程度じゃ
全然気持ち良く
ないもの…♥



だから
お兄ちゃん以上の
素敵チンポにさせる
ためにー

こうして
お兄ちゃんなら
みんなが小鉄くんを
経験させて
アタシが
満足できるような
チンポになるまで
育て上げるの…

だって
アタシは…

チンポが良ければ
それでいいんだから
♥

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などとは切関係
ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。



あー
いや…あ

キョロ

キョロ

桜家先輩

どうしたん
ですか？



先輩…

小鉄くんが
こっちに
来てたように
見えたから…
どこかなくと
思っ…



今日は
そういう事
気にしなくてもいい日
じゃないですかっ

ただでさえ
平日は小鉄くんのお昼を用意も
してるのに…
先輩は心配性が
過ぎますっ

で…で…





頭…痺れる感じ…好き…い♡

ふ…う♡
ちゅー…
キモチ…いい…♡



行った…?

行った…よね…っ



うん…っ



ちんちん…して…っ♡

来海…も…戻…つたから…っ♡
小鉄…もっ♡



小鉄になって
七日目の日曜日
本来なら
寮生にとっても
指導員にとっても
貴重な休日だ

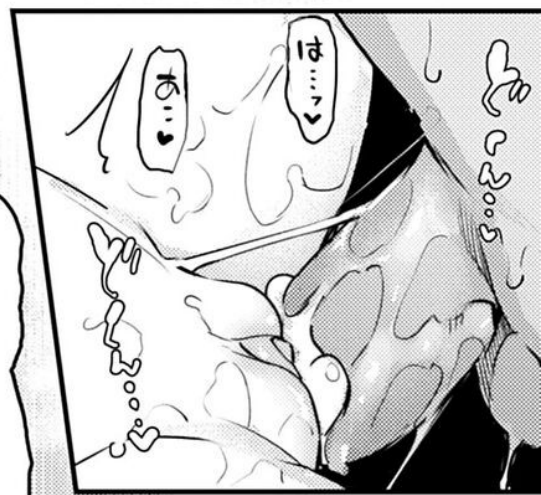


だが俺にとってはこの日曜日は――



そんな穏やかな日になりそうもなかった

小鉄の... あつい... っ



僕が聖女寮に
来てから

今まで寮生たちが
一日交替で
世話をしてくれていた

お坊ちゃま
おまたせ
しましたっ

世話交代制も
一旦のお休み
つまり

今日は誰でも
小鉄の世話をしている
という事だった

お..
おいしい
です...っ

可愛いねっ
お坊ちゃまっ♡

しかし
この日曜日には
その括りがない

はい
あそんっ

あむ

ちよっと
皆様っ!

あまり小鉄を
困らせない
ようにっ!

そのため
こうして寮生たちが
代わる代わる
面倒を見に来る

それになんで
お坊ちゃま呼び
なんですの!!
イミフです!!

だって今
私たち
メイドだし?

相應の言葉遣い
じゃないとね

てまー!



まやあああ!?

それに可愛いし
似合ってるぞ
来海い〜

そーれ
触らせろーっ



何するん
ですのおおっ!?



いえ
そもそも何故
使用人に
扮するのですっ

わざわざ
こんな格好までする
必要がないのです…っ

い〜じゃん

その方が
お世話する気分が
盛り上がるっしょ〜



ふふふふ
よき声で
泣きよる〜

よいではないか
よいではないか〜

やめ
やめて
くださいまっっ



僕はつい劣情を
催してしまっ

普段と違って
はしゃいでいる
彼女たちの
今までは
考えられない
距離感と無防備さに



あいや
何も…っ

お坊ちゃま?
どこ見てるの〜?



それを察した
今までの
お世話担当者たちは
みんなに隠れて
こっそりと…

ふふ…
おっきい…♡

ふふ…
おっきい…♡

ふふ…
おっきい…♡



お姉ちゃんたち
見たら興奮して
こんなに
しちゃったのかな…♡
いやらしい
お坊ちやまあ…♡

そんなエッチで
いけない
お坊ちやまは…♡



ふふ…
おっきい…♡

ふふ…
おっきい…♡



お坊ちゃまので
お姉ちゃんの
おっぱい

こんなに
いやらしく
なっちゃった…♡

ほら
見てえ…♡



一人で
できる…?

大丈夫？
お姉ちゃんの
分かる…？

うん…っ



彼女たちは
隙さえあれば
人気がないところへ
僕を連れて行き

あ、
小鉄くん
眠りたいだから
貴賓室のソファに
連れて行くね

りよ〜

ヒョッ

え



そして何度も
お世話をして
くれる——♡

きゅん
きゅん
きゅん...♡

お坊ちやま
上手だね...♡

ぬるぬる

うわ...
ぬるぬる...

吸い付いて
包み込まれて...

お姉ちゃんに
してくれるの
嬉しい...♡

一日中
色んなお姉ちゃんたちに
甘え続けられる——♡

お坊ちやまの
熱くて...♡
上手で...♡

これが——

あう...♡!!

キモチ
いい...♡

め…め…

め…め…

す…す…

す…す…

す…す…

す…す…

頑張ったから
ホントに眠く
なっちゃったかな…？

いいんだよ♡

このまま
気持ちよ〜く
お昼寝しちゃお…♡

ふ…

射精したくなったら
射精しちゃって
いいからね♡

全部お姉ちゃんが
お口で綺麗に
してあげるから…♡

くちゅ♡

くちゅ♡

むぎゅ♡

おやすみなさい
おほっちゃんま…♡

ふ…

ふ…

こうして僕は
ひたすら
お世話される快感で
意識を
蕩けさせるように
微睡に落ちていった…

—だが
日奈森さんの言う
『日曜日』は

まだ
これからだった

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

なるほどね

私がない間の
ラウンジは
そんな事に
なっていたんだっ
ふふっ

みんなと
やりまくった上に
真昼ちゃんとの
発情セックスを
見せつけちゃう
だなんて…



さすがだね

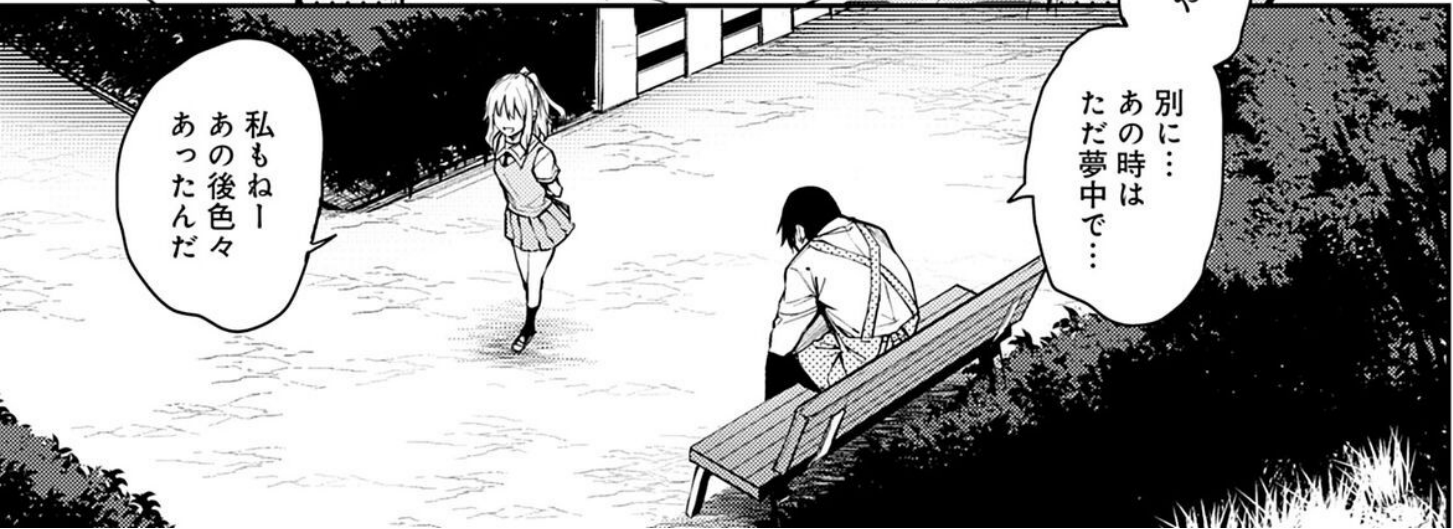
鉄平さんっ♡

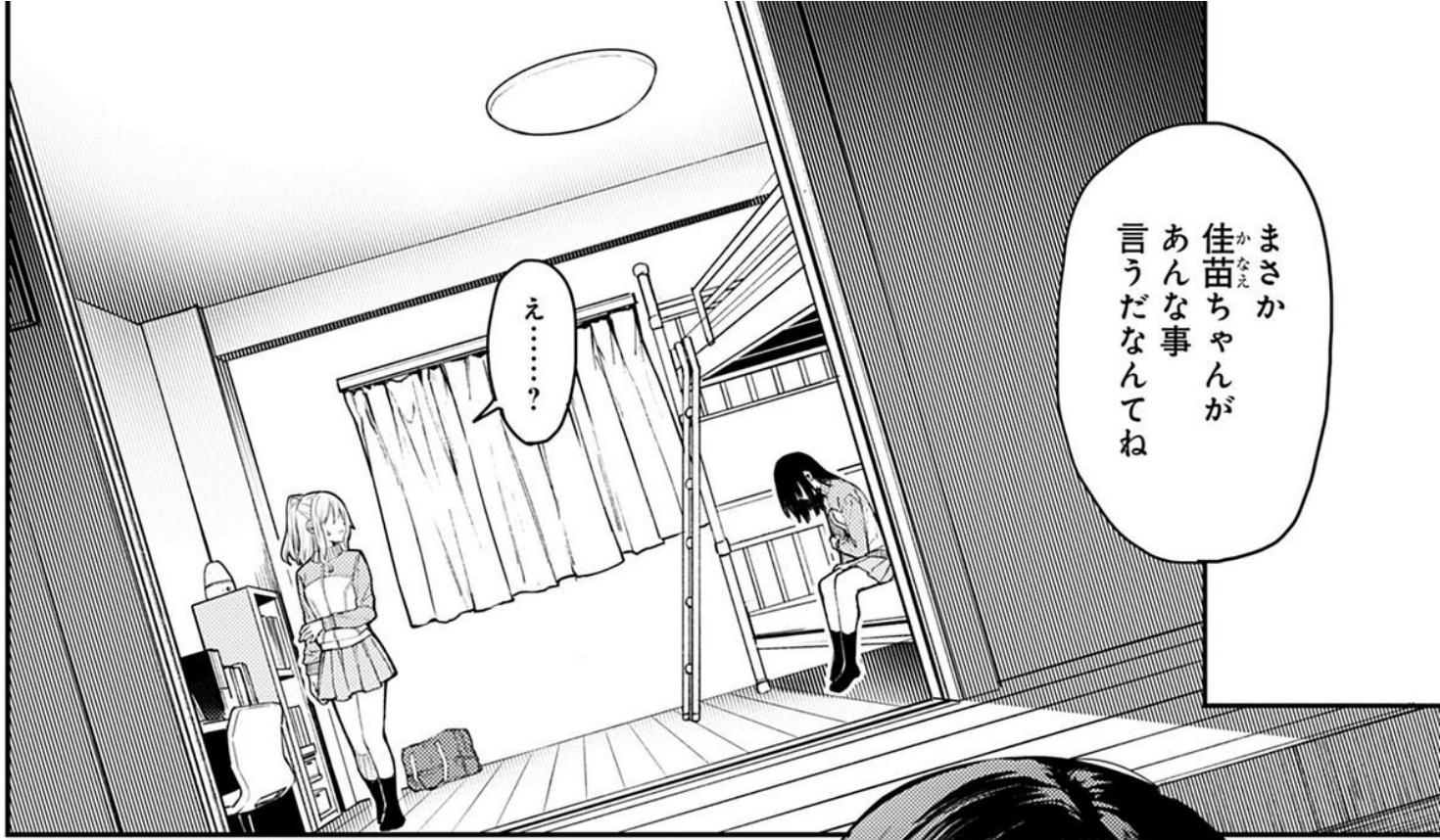
あ…いや

別に…
あの時は
ただ夢中で…

私もねー
あの後色々
あったんだ

寮 | 学 | 女 | 体 | 験 | 姉
― 生意気女学生とおねショタえっち!? ―
最終話 後編







私も
姉体験が
したい……

私がお姉ちゃんになつて
お姉ちゃんに甘えるには
どうしたらいいのか……
って聞いているの……っ

かあぁ



あ~~~~
なるほどお……

まさか貴方が
そういう趣味
だったとはね……

仕方が……
ないでしょう
……っ!!

だって……

私のお姉ちゃんが
エッチすぎるから
……っ!!

!?

ゴッ

可愛くて優しくて…
少し抜けてて
甘えん坊で…っ

それで私の事も
大好きで…っ！

自分のいやらしさの
自覚も無く
無邪気に無防備に
接してくる…っ

佳苗っ♡
今日も
一緒に寝よう♡

性癖くらい
歪むのよっ！

そんなエッチな
お姉ちゃんがいつも
傍にいるのよ！

なんなの
あのおっぱい！

柔らかくて
気持ち良すぎる！！
いい匂いが
しすぎるっ！！

桃源郷って
身近にあるのね！！

うっ…
お姉ちゃん
好き…っ

ホントは
超好き…

好きで…

大丈夫？





私はただ素直になりたいだけ……

ちょっとオギヤリながらバブバブしたいだけ……

ついでに前後不覚になるくらい濃厚なスケベがしたいだけなの……

割と欲深……っ



でも私が妹でいる限りこんな悶々とした想い言えるわけない……っ

お姉ちゃん好みの弟にでもならなきや……

キュ……



とにかくこのアプリなら……貴方の作ったこのアプリなら出来るわよね……!!

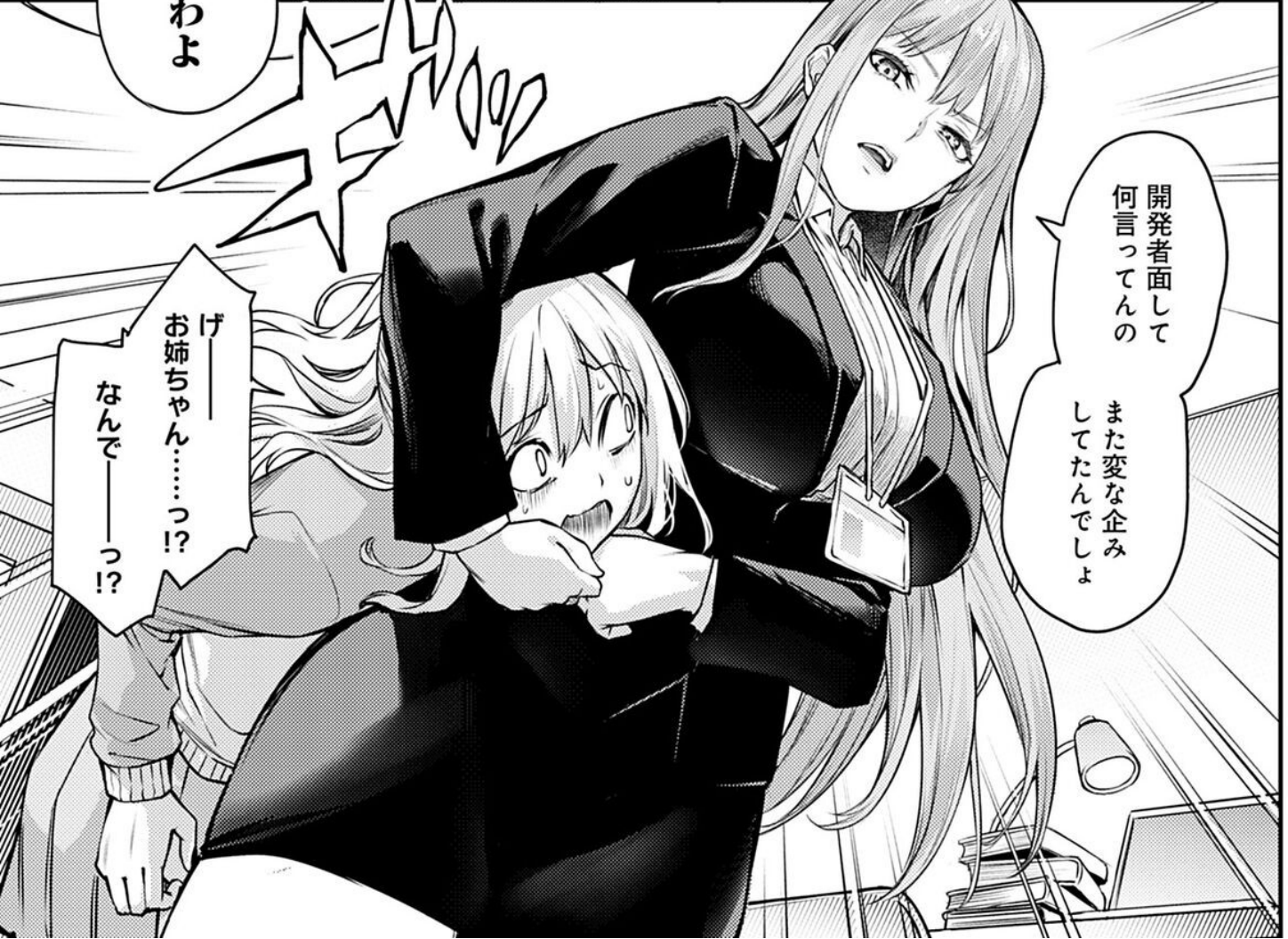
ね!?

え……ああ

そりやあモチロン

出来

ないわよ



開発者面して何言ってるの

また変な企みしてたんでしょ

げ——お姉ちゃん……っ!?

なんで——っ!?



そんな寮生たちは皆ホールに集まってるはずじゃ……っ!!

お姉……ちゃんっ!!

良かったわ私ひとりじゃ見つけれなかったかもしれないし

いいやその……っ



望未さんとはねコイツを探してる最中出会ったのよ

望未さんは寮生が集合してるはずのホールに妹がいないのに気付いて探し回ってたの

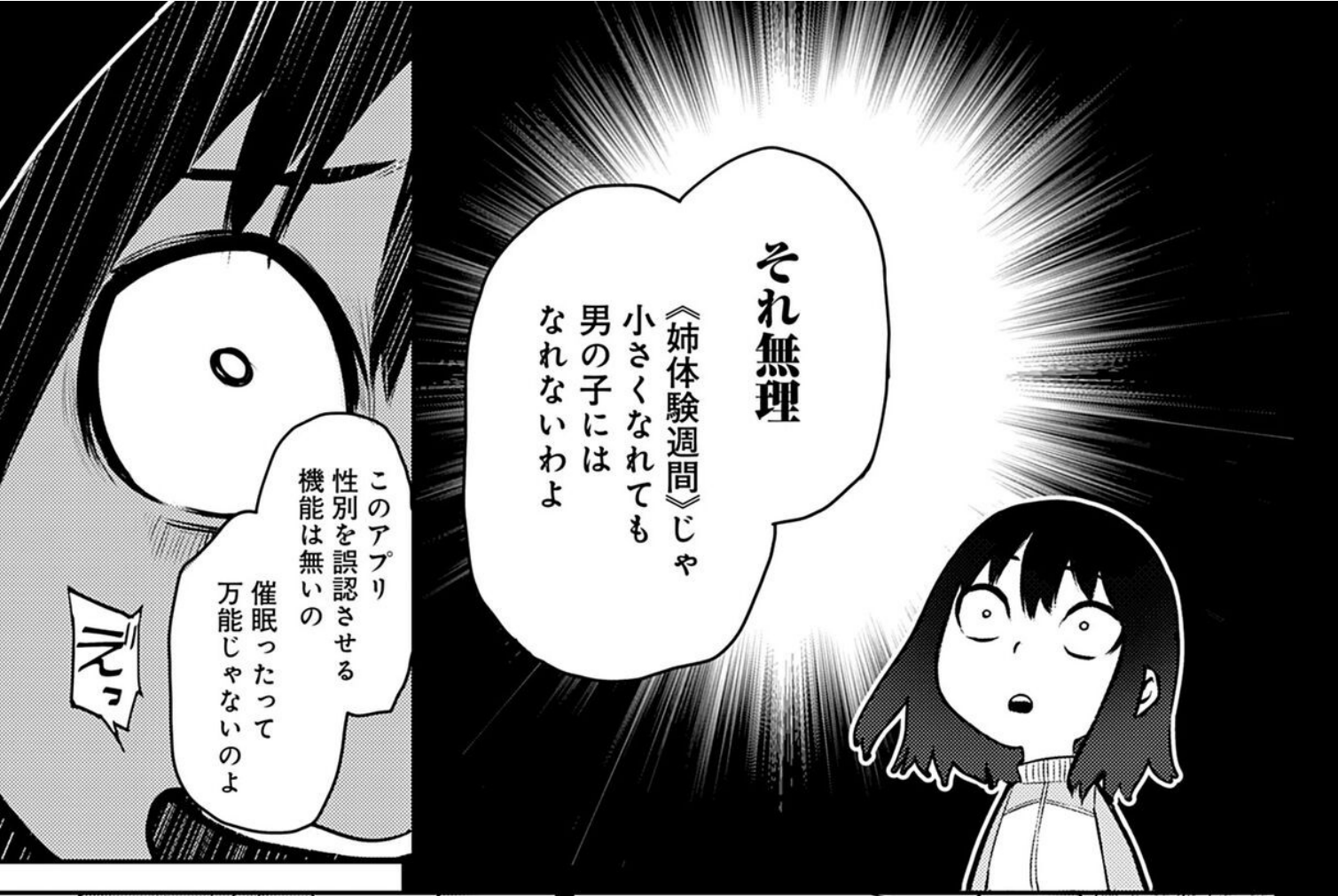
だから二人で手分けして探してたら部屋に入ってくアンタたちを見つけてね

それで二人で外から話を窺ってたって訳



悪いわね話は聞かせて貰った訳だけど……

じゃあまさか……っ!!



それ無理

《姉体験週間》じゃ
小さくなれても
男の子には
なれないわよ

このアプリ
性別を誤認させる
機能は無いの

催眠だったって
万能じゃないのよ

ムム



私が言うのも
なんだけど
容赦ないわね
優しさってのが
ないのかしら？

どの口が
言ってるの…
あんたこそ
分かってない
わね



コイツは
ただの盗人で
ただの嘘つき

お生憎だけど
何もかもコイツの
方便って事

あらら…

そん…な…



ほら—
よく見なさい

佳苗

ごめんね…

ふえ…？

キム...

お姉ちゃんのせいで
佳苗を追い込んで
辛い思いさせちゃったね

気付けてなくて
ごめんね

お姉ちゃん
可愛い男の子が
好きだから

それに
合わせて
くれたんだよね

佳苗の話
ビクッリしたけど
男の子になんて
ならなくていいんだよ？

お姉ちゃんは
今の佳苗が
大好きだから
佳苗は佳苗のまま
甘えてくれて
いいんだよ……？

それに……

佳苗となら
前後不覚に
なってもいいよ……っ

なんて……っ♡

私は佳苗の
お姉ちゃん
だからねっ

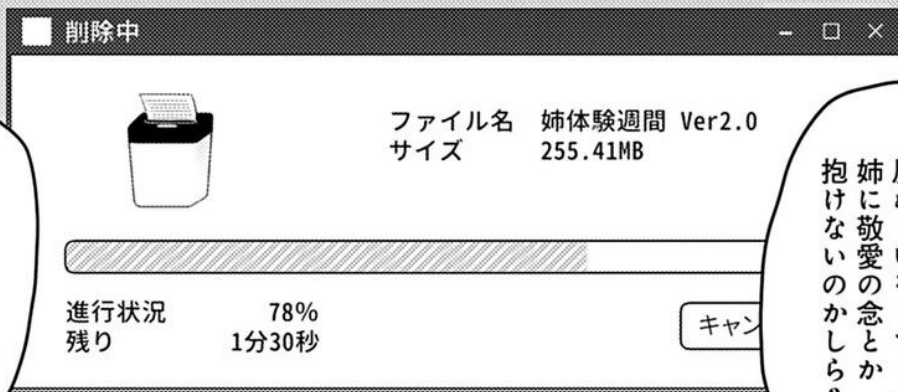
お姉ちゃあ
あうああ
あんん!!

やっぱり
望未さんはいい姉と
思ったのよ

美しい
姉妹愛……いえ
家族愛……っ

家族愛？
実質ただの
性交渉では？





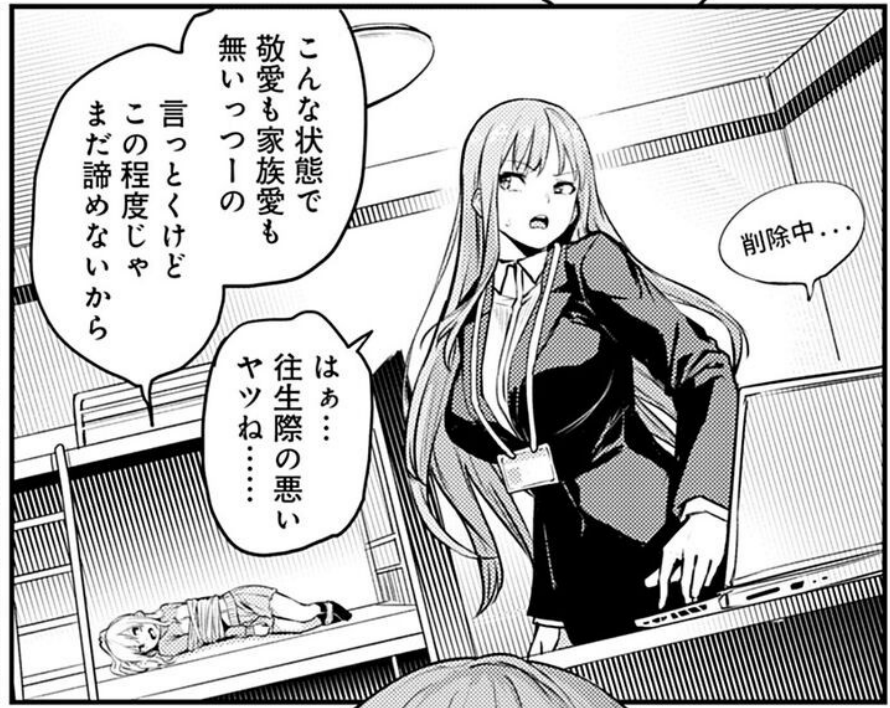
何よ偉そうに…
お姉さん面
しちやっつてさ

まったく…
不誠実の塊の
ようなヤツね
アンタ…
問題児の妹の
尻ぬぐいをしてくれる
姉に敬愛の念とか
抱けないのかしら？

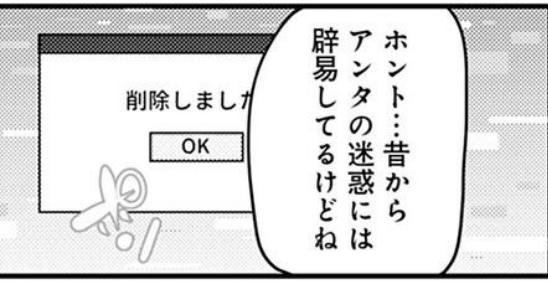


当然でしょ
ここで私を止めても
第二第三の策が
私には—

はいはい…



こんな状態で
敬愛も家族愛も
無いっつーの
言っとくけど
この程度じゃ
まだ諦めないから
はあ…
往生際の悪い
ヤツね…



ホント…昔から
アンタの迷惑には
辟易してるけどね



さすがに
今回の事は
ご立腹なのよ
私じゃなくて
アイツの方がね



明日の聖女祭は
親族も入場可能
なのよ
つまり—



俺が就職した時
姉妹たちが気を使って
自分らの世話を
一人一日二回までに
抑えていたのに

一人だけ
何度も何度も
抜け駆けを
してーっ

おい…ひゃっ♡
待…っ♡



そもそも
お前がこの寮に
入れられたのは
お前だけ
決まりを何度も
破っていたからだ…



その上—
大勢を巻き込んで
《姉体験週間》を
悪用するなんて…

そんな風に
育てた覚えは
ないぞっ!!
そんな事を
するのは
此のまんこか!?

聞き分けの無い
まんこは
此のまんこか!?



一から身体に
教え込んでやる



二度とこんな事
考えないように



も……
無理……いつ！

らめえ……っ！

まだまだあつ！！



潮吹きながら
何が
こめんないだっ！！

ごめ……
んな……ひゃ
……っ！

聖女祭くらいでしか
寮に入り込める行事が
無いからな
ちゃんと反省するまで
俺のチンポの良さを
徹底的に教え込んでやる

ひ……あ……っ





叱られるのって
最ツツ高……お♡

あんなに
激しいの初めて……♡
もっと厳しく
教育して欲しい♡
もっと滅茶苦茶に
分からせてほしい♡

悪い私を
懲らしめるために
もっと叱りに
駆けつけて
来てほしい……♡



ああ…好き♡
お兄ちゃん…
大好きい……♡

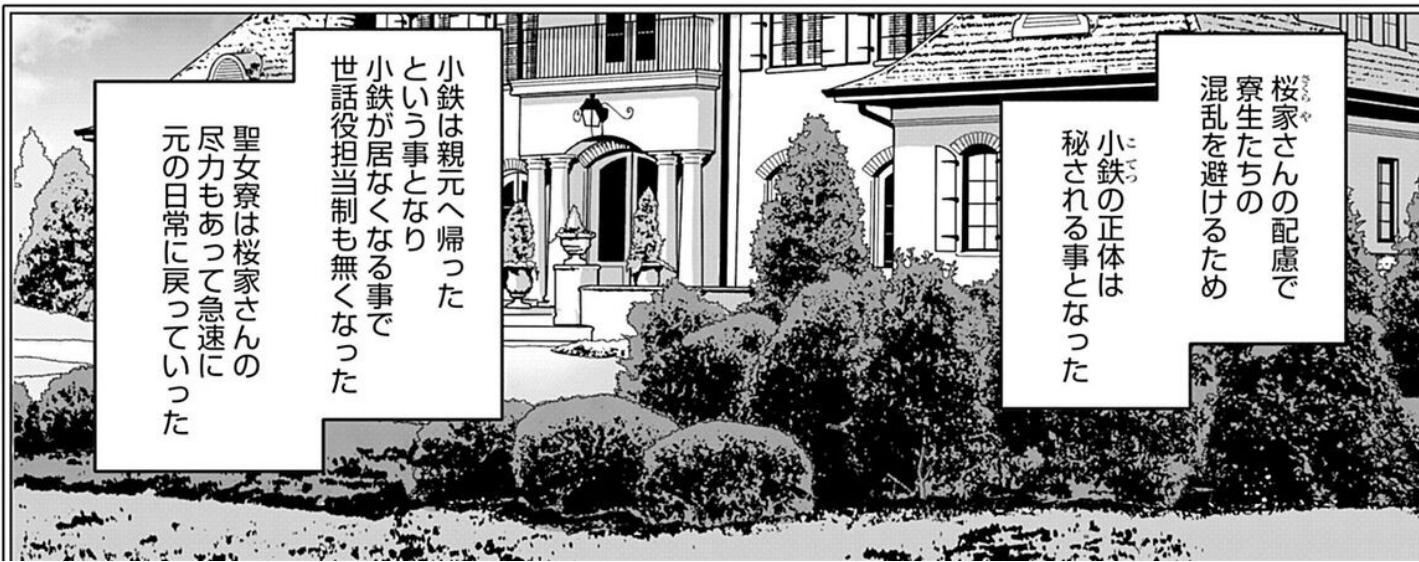
こいつヤバ

聖女祭から
三日が経っていた



ああ…分かった
これが家族愛って
事なのね……♡

うふふ…うふ♡



桜家さんの配慮で
寮生たちの
混乱を避けるため

小鉄の正体は
秘される事となった

小鉄は親元へ帰った
という事となり
小鉄が居なくなる事で
世話役担当制も無くなった

聖女寮は桜家さんの
尽力もあって急速に
元の日常に戻っていった



そして
鉄平に戻った僕の
日常は相変わらずだ
また元の
寮生たちに疎まれながら
無視され続ける
日々を送っていた



気落ちしながらも
納得した様に
「桜家さんが言うなら…」と
諦めてくれた



最初こそ
小鉄との別れを
惜しむ声もあったが
桜家さんが
「子供は親御さんと
過ごすべき」と
皆を宥めると



鉄平さんとしては
残念だったね？♥

でも…



鉄平さんの
未熟なおチンポじゃ
私を墮としきれ
なかったね…♥

佳苗ちゃんっていう
余計な邪魔が入った
せいでもあるけど

もうちょっと…
もうちょっと
頑張ってたら…



私を含めて—
聖女寮のみんなを

お姉さんに
しちゃえたのにな...♡



そうしたら

毎日...毎日...
好きなお姉さんとの
甘々お世話性活が
待ってたのにな...♡

残念...♡

残念...♡

あらためて
思い知らされる

日奈森さんという人は
僕には
荷が重すぎる

う...っ

結局...僕は
最初から最後まで
日奈森さんに
弄ばれてだけで...
出来はしなかった



ただ
その影響は
僕の周りに
大きく残っていて…

こうして
日奈森さんが始めた
今回の身勝手な騒動は
僕とは関係もなく
幕を下ろした

一年後



ちよ…姉さん
ダメだって…っ

マズイって…っ

パンッ

カッ

カッ

カッ



んむ…
らうじよお…
ぶう…♡

買出しに
行かせるかっ…

しばらく帰って
来ないから…♡

あ…♡

ん…♡

カッ

カッ

お姉ちゃんのおっぱい感じて……っ♡♡
たくさん味わって……っ♡

私に鉄平のチンポ感じて……っ♡

あーっ

あーっ

あーっ



甘いみたいだコネコネして……♡

ほぅ♡

ほぅ♡



おっぱい挿んで……好きに動かして……♡

ほぅ

待……



そのおっぱい……全部……おっぱい……っ♡



あ……っ鉄平を感じ……♡

嬉……っ♡





その人は
私の婚約者ですよ？

それを分かった上で
手を出していいと
思ってるんですか？

う……
でもまだ籍も
入ってませんし……

ちょっとした
し……姉弟の
スキンシップくらい……



貴方という人は……
毎回毎回
流されやすすぎ
です

たまには男らしく
気概を持って
突っぱねたりしたら
どうなんですか？

す……
すみません……

で



まったく……



実の姉と弟が
そんな事して
いい訳無いでしょう

籍も今月に
入れさせて
いただきますし

弁えてほしい
ですね
お義姉さん？

ヒイ……
正論の圧……



では
お義姉さんは仕事に
戻って下さい

行きますよ
鉄平さん

うわあわああん!!
鬼!! 鬼嫁え!

ズリ
ズリ

何して
るんですか？

あ…っ

さっき…その
で…射精る直前
だったからというか…

収まりが
付きそうにない
というか…っ
気概が
突っ張っちゃって
なんて…ハハ…

ふざけないで
ください!!

だいたい私は
「姉体験騒動」の事を
まだ許していませんっ!!
貴方のような
色ボケ変態大迷惑男に
触られるなんて
反吐が出るほど不快です!!

すみません
すみません!!



貴方の価値はこれしか無いんですから分かったらさっさとして下さい



ちょよ調子に乗りました……

まったく……っ

あの時の騒動後

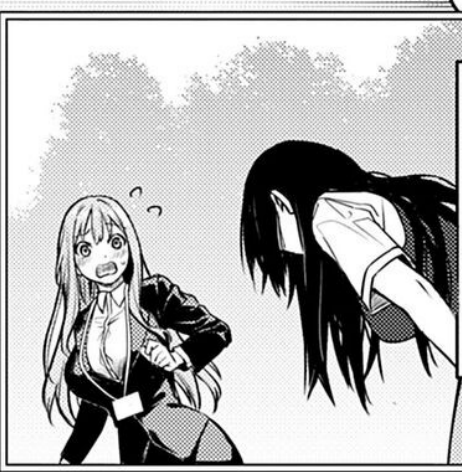
はい……

そのために早く帰って来たんですから



最初はかなり泣かれていたようだが

No!



真昼は《姉体験週間》の存在を公表しない事を条件に自分のアプリだけ使えるように絢夏さんあやかにお願いしていた



交渉の末——
なんとか特別に所持を許されたらしい

私知ってるのは獣コスして発情期メス姉プレ

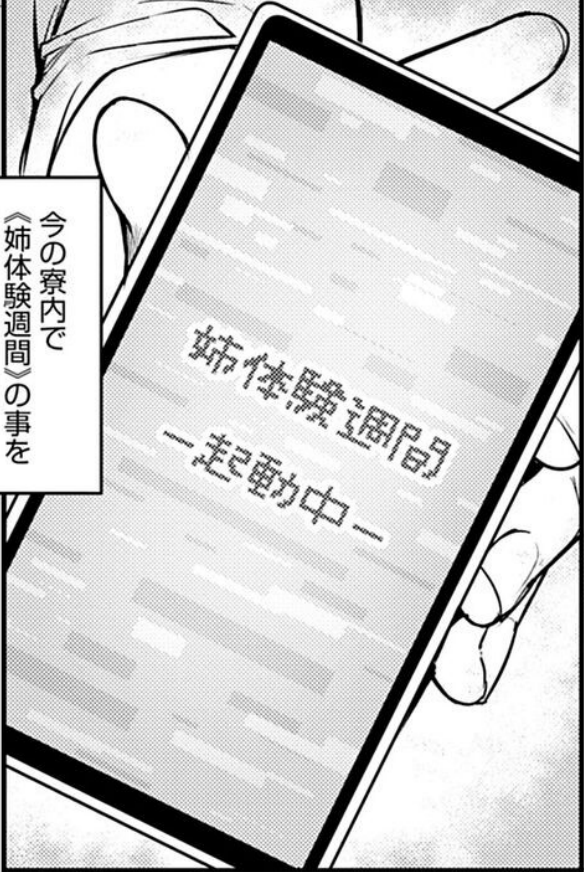
いーじゃん二人で使う分には絢ちゃんだって今も使ってただし





今の寮内で
《姉体験週間》の事を
知っているのは
僕と真昼だけ

二人で過ごす時は
いつもアプリを
使わなければならない

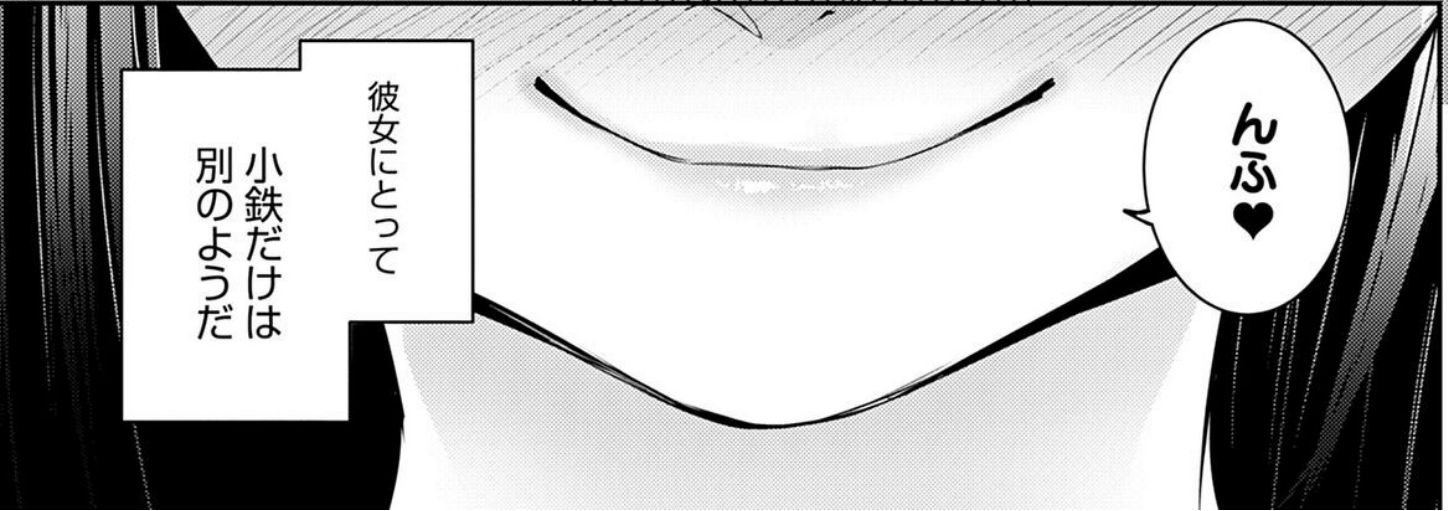


これは
真昼たつこの
希望

彼女は
未だに僕の事を
許してはいないが

ん……

ふ……
ふふ……っ



んふ♡

彼女にとって
小鉄だけは
別のようだ



お嫁さんの
おっぱいは...
小鉄くんのもの...
だから...♡♡

ん...♡
気持ち...♡♡
...の...♡♡

このまま
我慢...しない
...で...♡

たぽっ

たぽっ

姉 | 体 | 験 | 女 | 学 | 寮

— End Collection —
グッドエンド | 真昼ルート

※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。



感じ...♡

小鉄くん...♡

小鉄くん...♡

う...んっ
あ

で...で...
あ

...ま...真昼
あ

おっっ

おっっ

ぬ...っ

ぬ...っ

ぬ...っ



真昼...? 違うでしょ? 真昼お姉ちゃん... でしょ...?

こめんなさい! こめんなさい!!

何鉄平として 自我出してるの? もぎ取るわよ?



私ハね 鉄平じゃなくて 小鉄くんの お嫁さんなんです

貴方自体には 虫ケラ程度の 価値しかありません

最近... モテ始めたからって 調子に乗ってるでしょ

あひっ!?



あ?



あわわわ

無実! 潔白!!

いやいやいや!
そんな事は
一切なく……っ!!

貴方……
まさかそうやって
また寮生たちと……



以前よりも
余裕をもって寮生たちと
接しているわね

姉体験騒動で
多数の女性と
経験を経た事と

婚約によって
女性への免疫が
養われたせいか

寮生たちも
余裕のある既婚男性が
相手となると
安心するしね……



そう……
ならちゃんと
相応の態度で示して
貰わないとねえ……?

っ……っ

……うう



えっと……
あの……

まひる
おねえちゃん……
おねえちゃん……
ぼくの……
ちんちん
たすけ……てえ……

なんか……
ちんちんが……
へんになっちゃって……
くるしくって……

まひる
おねえちゃんにしか
おねえがいできない
から……

ま……まひる
おねえちゃん
じゃなきや
いや……だからあ……



だから……
あの……

おねえ……
ちゃ……っ





まあーだっ♡
小鉄くんのちんちん
気持ちいい♡
言ってるの？♡

ちゃんと
お嫁さんの膣内で
びゅっびゅ
しきりな♡

ほりーっ
おっぱいも…
好きなだけえ
ちゅっちゅーっ♡

気持ちいいの
我慢しないでっ♡

もっ
甘えて♡
甘えなほね
っ♡

あん♡
ほり腰も
てんてんてん
出ちゃひっ
言ってるの♡

射精してっ♡
射精してっ♡

びゅっびゅが
上手なところ
見せてっ♡
お嫁さんに
ちんちんが
甘え上手なところ
見せてっ♡

あ♡
あ♡
あ♡





えへ…へ♡

幸せがいっぱい
入ってきて…♡
お嫁さん嬉しい…♡
ありがとうございます…♡
私の可愛い
旦那様…♡

—よし…と

はあ…
スッキリ
したっ
じゃあ次は
消灯前に
するから

アンタはそれまで
風呂掃除でも
しといてよね

昔から優しい姉を
体験したいと
望んでたけど

弟である事を
強制されるのは
思いのほか大変でした
——鉄平手記抜粋



※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

それにしても…

まさか
あのタイミンで
お姉ちゃんが
来ようとしたとはねえ

危うくバレて
私の計画がパーに
なっちゃう
ところだったよっ

上手く
取り繕えて
ギリセーフって
感じだったねえ

いや〜ホント…
気づいて
良かった〜♡

ねー？
小鉄くん♡

あ〜メーン♡
今おまんこに夢中で
それどころじゃ
なかったよねえ♡

今
思ひきり
あげるね♡

寮 | 学 | 女 | 体 | 験 | 姉

— End Collection —

アナザーエンド | 冬乃ルート



だから
いいよ…♡
何度でも…♡

今まで
我慢した分

好きなだけ
しよ…♡



ふふ—♡
まさか
小鉄くんが

「他の誰でもなく…
私だけに自分の
お姉ちゃんになって
欲しい—」

なんて
言ってくれる
なんて…♡

すごく嬉しく
なっちゃった…♡



全部私が
書き換えて
あげる…♡

今までの
エッチ—

このまま
一番気持ちいい
射精しちゃおう♡



腰遣いも
上手で
偉いね♡

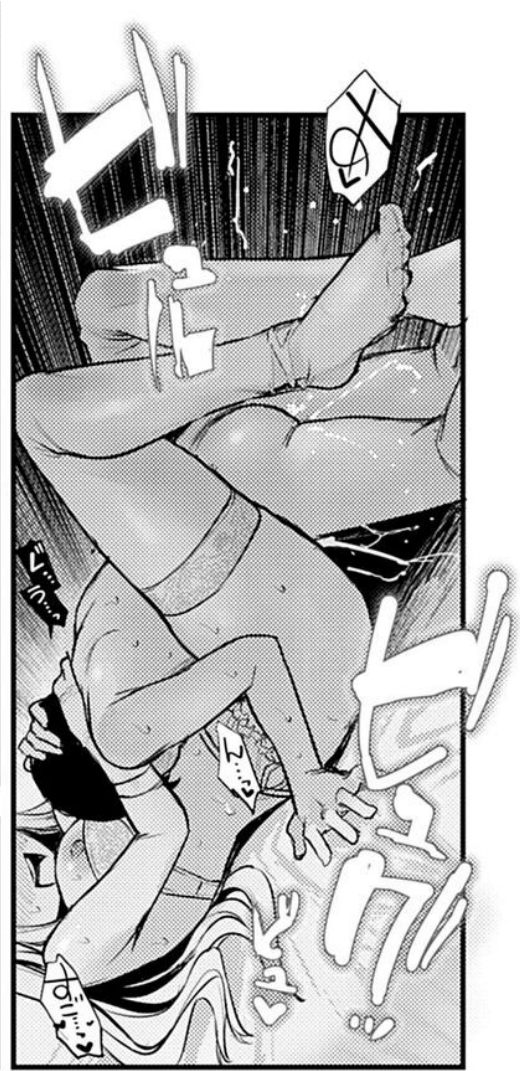
女の子を
イカせるチンポ
なって嬉しい♡

う…あつ
で…う…



濃いのがれて
頭…痺れる…う♡

ふ…ふふ♡
それもこれも…
私の教育の
賜物…だね♡



こんなに
してるのに
まだ腰へろへろ
しちゃってて
可愛いね…♡



— そうだっ
こっち見て…っ
一緒に撮ろ
っ♡



小鉄くんの
ワンちゃん
就任記念に♡

私が
お姉ちゃんとして
貴方をずっと
飼ってあげるね♡

ASA
ポートレート
写真
ヒナキ



※この作品はフィクションであり、実在の人物・団体・事件などは一切関係ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。

寮学女体姉

— End Collection —

アナザーエンド | ひなみ・ちなみルート





こうして
みんな隠れては
エッチな事を
続けています

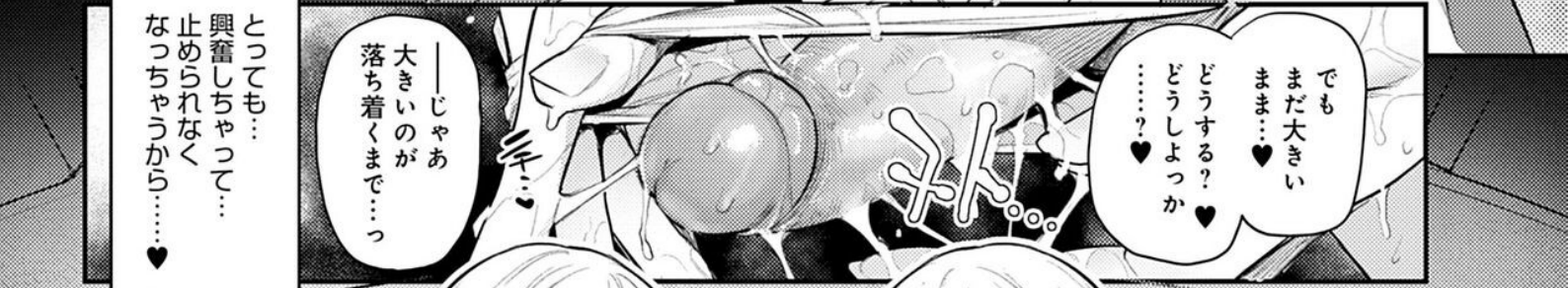
—こんな小鉄くんを
辱めるみたいな真似
イケない事なんだけど…

もお…
小鉄くん
ってば…♡

お姉ちゃんが
あげた下着
汚しちゃう
なんて…

イケない
んだあ…♡

恥ずかしがる
小鉄くんが可愛くて
愛おしくて—



でも
まだ大きい
まま…♡
どうする？
どうしよっか
…♡

—じゃあ
大きいのが
落ち着くまで…っ

とつても…
興奮しちゃって…
止められなく
なっちゃうから…♡



小鉄くん…

お姉ちゃんたちが
お世話して
あげる—っ♡

イケない
お姉ちゃんたちで
ゴメンね…♡



姉 | 体 | 験 | 女 | 学 | 寮
— End Collection —
アナザーエンド | 來海・香那子ルート





皆さん今日も
生徒会執行部
小鉄くん専属
射精管理委員会の
業務に勤しんで
いただいている
ようでは何よりです♡

小鉄くんは
当学院でお預かり
している身——

生徒会は学生たちの
健やかな成長の
ための組織ですから

その生徒会が
小鉄くんのお世話を
するのは当然の摂理っ
これは義務
といって差支え
ありませんね♡

あのお
……会長お
……
……



また……
榕さんが
……その……

——
ンガッ!?

榕さん!!
また自分ばかり
独占して!!
というか
そろそろ私と
交代なさいっ!!

小鉄……♡
小鉄……う♡

※この作品はフィクションであり、実在の人物団体事件などは切関係
ありません。また、18歳未満の者の性行為を表現したものではありません。



あ…
その…
気持ちいい…
です…っ

強くない？

どうかな
小鉄くん…♡

姉 | 体 | 験 | 女 | 学 | 寮
— End Collection —
アナザーエンド | 望未・佳苗ルート

いっぱい感じて
気持ち良くなっ
ていいからね♡

ホント？♡
良かったあ♡
お姉ちゃんの
おっぱい…♡

おっぱい♡

うん…

おっぱい♡
おっぱい♡

本当の事も
言えないし…
ここは耐えるしか…っ



— だけど
お姉ちゃんが
望んだ事だし
カリッ

私とお姉ちゃんの
安住の地に
シヨタぶりクソ男が
入ってくるなんて最悪！



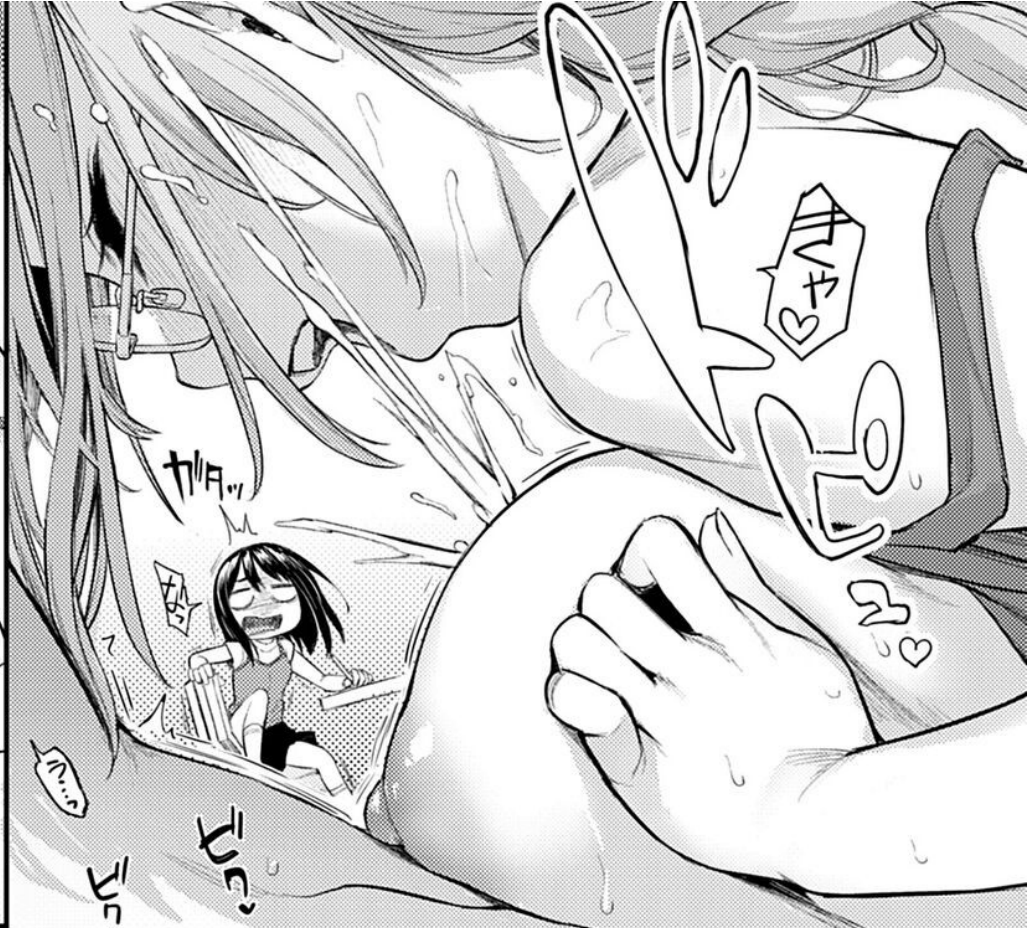
夏季休暇中は
うちで小鉄くんを
預かる事に
なったの♡



わあ...♥
おっぱいが
とろとろに
なっちゃった...♥

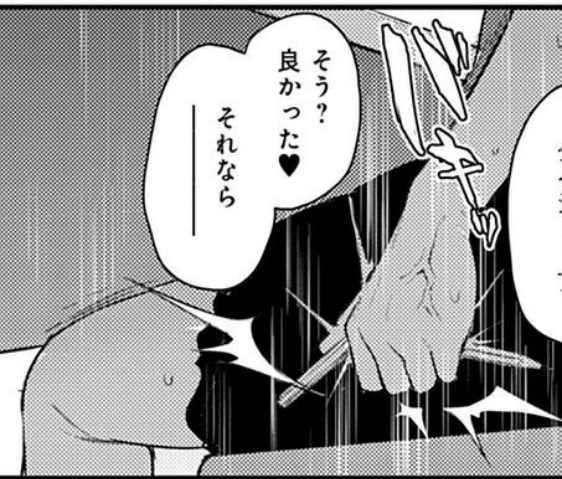
くああ~~~~!!
何キッタネエの
かましてくれたんだ
アイツウ.....ツ!!

ホントなら
私があ立場に
いたはずなのに...っ!



カハッ

ヒッ



そう?
良かった♥

それなら

ウウン
ワタシモ
コテツクン
スキダカラ

ダイジヨープ
ダイジヨープ

く...っ耐える...っ
「姉体験」を使って
私があ男に
取って代わる日まで...



えへへ
宿題見てる途中に
ごめんね佳苗
小鉄くんのが
膨らんじやって
可愛そうだったから♥



え



もっと
小鉄くんと佳苗にも
仲良くなつて
貰いたいし:

次は佳苗が
小鉄くんの
お世話してみる?



うんうん♥
そうやって
おちんちんを
こしょくしょくしてっ♥

そうそう♥
佳苗お姉ちゃん
上手上手っ♥

小鉄くんも
佳苗お姉ちゃんと
仲良く出来て
良かったね♥

二人が仲良しだと
お姉ちゃんも
嬉しいなっ♥



うめあめもう…
乳首弄られんの
ソクソクして
気持ち悪い…!

こっちはお姉ちゃんを
傷つけたくないから
仕方なくやってる
だけだっつてのよ…!

調子に乗って
吸わないでよっ
このペンタイが…!

ヤバ…
強く擦られるから
こっちも力が
入っちゃっ…



同時に
イッちゃう
なんて
二人とも
仲良しね♥

キキキ
イッッ!

なんか…
強…っ!?

